

## 第 59 回東葛しぜん研修会

### 里山と田んぼ

坂巻 真有美 (印西市)

日 時 : 9 月 17 日 ( 土 ) 9 : 30 ~ 15 : 30

場 所 : 草深そうふけの森 ~ 花の丘公園 ~ 結縁寺けちえんじ ( 印西市 )

天 気 : 曇りのちどしゃ降りのち晴れ

参加者 : 指導員 16 名 会員外 2 名 担当指導員 : 渋谷孝子、坂巻真有美

午前は里山 100 選の結縁寺付近を目指して歩き ( 雨のため変更アリ )

午後は室内にて里山のキホンの確認と田んぼ子ども向けアクティビティ

今年の印西市における観察会は、里山に関する初心指導者向け研修会ということで、渋谷さんの研修とわたしの事例発表という形で開催されました。

印西市の草深の森 ~ 結縁寺のコースは典型的な里山の風景です。森・神社・寺・ため池・川・田んぼ・畑、そして人々の暮らす集落など、今回の研修会では、観察会で何気なく見ていた風景を、きちんと整理して見直すことにしました。あいにく台風が近づいていたことも重なり、天気は急変して雨模様でしたが、現地では、穂の深く垂れた稲や遠くのサシバラしき姿、マユタテアカネをはじめとする数種のトンボたち、ジイソブやハナトラノオ・フシグロセンノウの花など、里山ならではの生き物たちを観察することができました。

観察会の中では植物の得意な指導員、昆虫の得意な指導員など、相互にそれぞれの知識を教えあうことができる身近な研修会となり、一般観察会とは違う気軽でとても楽しい観察会となりました。「北総花の丘公園」では、渋谷さんが中村俊彦先生の「里山しぜん誌」や NACS-J の「生態学から見た里やまの自然と保護」などを参考に、里山の定義・植生遷移・その歴史・地形のなりたちなど基本からわかりやすく講義して、ふだん何気なく使っている「里山」という言葉の意味も、文献により微妙に意味合いが違うことも紹介してくださいました。

研修後半では、白井市の NPO 法人で行なわれている「田んぼの学校」のお手伝いの様子を事例発表 ( P P T と紙芝居「米作りとわたしたちの生活」 ) させていただきました。

今回の研修会は千葉県を代表する里山風景の中で、自然観察会を行なっていく上での基本を学ぶ有意義なものでした。この研修会で得たことを、今後の観察会で活用してゆきたいと思います。



ナツアカネ、ダイミョウセセリ、マユタテアカネで盛り上がり

自作の紙芝居